# ■ 令和2年度入学生用 カリキュラム・マップ ■

## 教育学研究科 共同教科開発学専攻

教授会等承認日（報告日）：令和2年11月5日

| 学位 | 博士（教育学） | | | | | | | | | | ディプロマ・ポリシー（DP） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 付属情報 | | | | | | | | | | | 共同教科開発学専攻 | | |
| 大区分 | 中区分 | 小区分 | 詳細 | 必修選択 | 科目NO | 科目コード | 授業科目 | 単位 | 開講種別 | 授業目標 | DP1 | DP2 | DP3 |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 愛知教育大学静岡大学 | 必修 | | 37010010 | 教科開発学原論 | 2 | 講義 | 本講義は，教育環境学と教科学を統合した学としての教科開発学を構築しようとする背景と目的を明確にする。教科開発学における「教科」とは，既存の教科枠に囚われず，新たな教科観の開発・創造という意味合いも込めている。教育環境学は，学校環境だけでなく，地域・社会・文化を含んだ幅広い視点からの教育環境の研究の発展を目指す。教科学は、教科専門と教科教育の融合による教科内容構成の研究の発展を目指すものであり、教育論，教育内容論，教材論という三つの基本軸からなる。<br>新たなるこのような新しい学問として教科開発学を確立していくために従来の教科教育研究を中心にした研究と教科開発学との差異、教科開発学の定義・特色等、教科学と教育環境学の構造的連関をどうとらえていくかを明らかにしていく。<br>この基本問題を検討するために，4名の教員の専門分野を基に教科学分野という視点でこれまでの自己の研究成果をふまえながら，その基本問題に関する考察を試論的に提示する。これらの講義を通して教科開発学の学問方法論の知識を得ると共に，領域横断的な学術的知見や理論を修得していく出発点とする。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 愛知教育大学静岡大学 | 必修 | | 37010030 | 教科開発学実践論 | 1 | 講義 | 教科開発学実践論では，教育事象を共有化し，実践を理論化する方法論等を学び，学校教育の実践を理論化し，また，その理論を指導に生かす能力を身につける。<br>学生は，教員養成系大学の教員等で活躍することが期待されているために，大学教育段階における教育実践をも視野に入れて，教科開発学における実践上の課題の把握，大学教員としての教育実践力，教員FD等，実践的諸課題を追求する。<br>そのため、各受講者のこれまでの研究を、教科開発学の視点から構成しなおし、それについて発表をし、受講者および教員全員で議論する事で、上記の狙いを達成する。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 愛知教育大学 | 選択 | | 37010050 | 文化資源活用論 | 1 | 講義 | 文化資源を、それぞれ異なる視点から取り上げることにより、複眼的な視点を養うと同時に、文化の根源に迫ろうとしている点が特徴である。<br>1）物語論による分析方法を用いて、小学校国語科教科書教材を分析します。教材分析を通して、国語の授業について考察します。<br>2）戦前の地理教育制度や教科書を取り上げ、今日の地理教育の課題について講義します。また、各教科の小中高一貫カリキュラムについても検討します。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 愛知教育大学 | 選択 | | 37010070 | 科学技術活用論 | 1 | 講義 | 1）自然科学と科学技術との関連について、STEMやSDGsなどの教育課題を連携させながら、科学教育が科学技術に果たす役割や、科学教育が育成すべき資質・能力がどのように科学技術に貢献しているかについて概観する。<br>2）現代物理学の基礎は量子力学にあり，半導体やレーザーといったテクノロジーは量子力学の発展の上に築かれたものである。本講義では，量子力学の原理がどのように科学技術に応用されているのかについてその概要を理解する。<br>3）算数・数学ではどのような考え方をするのかを、学校教育では扱われることが少ないが、子どもたちが興味をもてる教材を通して理解する。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 愛知教育大学 | 選択 | | 37010090 | 教育評価実証方法論 | 1 | 講義 | 授業では、はじめに受講者の研究テーマについて、パワーポイントを用いて発表してもらう。その後、各教員の授業を受講する。各教員の授業内容は、以下の通りである。<br>1）心理学における基本的な研究法（データの収集法、相関的研究と実験的研究法、尺度の信頼性と妥当性、因子分析等）について概説する。また受講生の研究について、内容や方法等について発表して検討する。<br>2）幼児教育学、保育学、子ども学の分野における実践的研究者と研究的実践者の立場から、対象（乳幼児、保育者）を理解し分析評価する方法、それを研究として昇華させるための研究方法を学ぶ。受講者の研究背景や状況に応じて、学際的な視座から、定量的（量的）な研究方法、定性的（質的）な研究方法、混合研究方法などの中からいくつかの具体的な方法を取り上げ、先行研究、文献講読、研究成果、事例を通して学ぶ。同時に、既存の諸科学で自明の理とされてきた思考の枠組みや方法、レトリックを批判的に検討してみる。<br>3）健康科学の立場から学校での実践論文をもとに、研究方法（分析方法等）と研究結果（まとめ方）について取り上げる。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 静岡大学 | 選択 | | 37010110 | 教育プログラム開発論 | 1 | 講義 | 教育プログラム開発論は，学校での授業の計画・実施あるいは分析・評価と同時に，高等教育機関において教育に従事するための，授業開発に関わる知識を学ぶものである。前半は，教育実践研究に必要な，研究上のアイデアを授業化する方法，データを収集し分析する方法，授業化のためのノウハウを学習する。また，教科開発の基礎となるカリキュラム経営の考え，キャリア教育等のカリキュラム開発に関わる具体的内容・方法などを学習する。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 静岡大学 | 選択 | | 37010130 | 表現・鑑賞論 | 1 | 講義 | 芸術は存在そのものが教育であると言える。そして，芸術を表現することとそれを鑑賞することは表裏一体の関係であり，常に同時発生的に進行する創造性豊かな思考過程である。この授業では，そういった表現と鑑賞の思考過程を芸術学と認知科学を融合させた学際的な観点で整理し，芸術教育のありかたについて考察するものである。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 静岡大学 | 選択 | | 37010160 | 教育フィールド調査論 | 1 | 講義 | 本授業では，教育現場をフィールドとして研究を進めるときに必要なデータ収集と、その分析方法について学習する。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | | 静岡大学 | 選択 | | 37010170 | 教育プレゼンテーション論 | 1 | 講義 | 素晴らしい研究成果が得られたり，役立つものを開発したりしても，その内容を相手に上手く伝えられなければ，妥当な評価を得ることが難しくなる。「発表内容が質的に優れていること」と「その内容を適切に伝達できる能力」の両方が備わって初めて，良い研究が完成したと言えるであろう。この授業では，人前で自分の意見を主張するプレゼンテーションの重要性を認識することから始め，どのようにすれば説得的なプレゼンテーションが可能となるのか，その具体的な方法を学んで行きたい。また，専門領域（例えば，理科系か文科系か）によるプレゼンテーションの相違についても話し合いたい。加えて，英語によるプレゼンテーションの方法も学んで行く。 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37020070 | 遊び文化環境論研究 | 2 | 講義 | 現代社会における子どもの遊びは、昔と比べてかなり変化している。この状況は、遊びそのものの変化に留まらず、様々な影響を子どもに与えている。本講義では、現代に生きる子どもの問題を遊びとの関わりから考察する。また、遊びによって身に付く「社会を生き抜く力」が、教育とどのような関わりをもつかについて話し合う。その上で、遊びがもつ可能性について、グローバルな視点から文化の創造との関わりを考える。具体的には、<br>1. 子どもの遊びがどのように変化しているか、過去から現在について概説する。<br>2. 現代の遊びが、子どもにどのような影響を与えているか事例をあげて述べる。<br>3. 遊びにより身に付く様々な力が、教育にどのような影響を与えるか推察する。<br>4. 遊びが文化を創造するとの視点に立ち、遊びのもつ可能性について考える。<br>　本授業は講義であるが、授業の中でディスカッションの時間をもうけ、教員から受講生へ一方向の授業にならないようにする。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37020150 | 学校適応論研究 | 2 | 講義 | 学校への適応について，児童生徒の動機づけという観点から検討する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37020190 | 教育哲学・思想論研究 | 2 | 講義 | 教育と呼ばれる事象や、教育に対する私たちの見方・考え方は、歴史的、社会的に条件づけられ制約を受けた形で成り立っています。その制約の外に出ることは最終的にはできませんが、その制約を問い直すことによって、教育と呼ばれる事柄に対する私たちの常識的なとらわれを抜け出し、現実を別の見方のもとで捉える可能性を期待することができます。この授業では、西洋近現代の教育思想ないしは教育にかかわる思想を手がかりとしながら、その思想に関わる知識を理解するとともに、私たちが教育と見なしている事柄を問い直す視点や姿勢を習得することを目的とします。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37020210 | 保育・幼児教育学研究 | 2 | 講義 | 幼児期の教育とは何か。何を目標とし、その達成に向けて具体的にどのような内容・方法で実践して<br>いくことが適切なのか。なぜ、その内容・方法が適切なのか。明治期以来の日本の幼稚園教育を中心<br>に、その教育理念や実践方法、それらを支える保育制度の変遷をたどるとともに、現代の幼児教育 ・<br>保育 の 内容 ・方法 及び制度上の 特徴 や 問題点にふれながら、今後の幼児教育 ・保育 のあり方について<br>検討したい。また、具体的な 実践として好きな遊びの例を挙げながら、質の高い幼児教育 ・保育 につ<br>いての考察を深めたい。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 教育環境学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37020310 | 教育方法・内容論研究 | 2 | 講義 | カリキュラムは、政策・制度であるという点において政治的であるだけでなく、授業において教え―学ぶ行為として展開される過程においても政治性を不可避に抱え込む。授業では、マクロな政治性に規定されながら、他方で教師―教材―学習者のコミュニケーションの中で自律的に政治性を生み出している。授業づくりの課題は、教え―学ぶ関係に生起するポリティクスを読み解き、それをどのように編み直し、より公正・平等な授業を展開していくのかにある。<br>　今年度は、「多様性とカリキュラム」をテーマとして、社会構造的、学習論的、授業論的な検討を行う。その際、多様性をカリキュラムに反映することが極めてポリティカルな問題をはらんでいることを前提に、「なぜ、今、多様性が重視されるのか？」「多様性を学校のカリキュラムに反映することが可能なのか？」を主要な論点として、理論的、実践的に検討していく。<br>　授業は、事前に配布した文献についてのディスカッション形式で進めていく。文献ごとに報告担当者を決める。この報告担当は受講者数にもよるが複数回担当することになると思われる。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37020110 | 学校危機管理論研究 | 2 | 講義 | リスク認知，リスク論やクライシスマネージメント研究の現状を踏まえた理論的な視座と学校での事件・事故事例の実践的な検討を通して，学校現場における危機管理の現状と課題についての理解を深めるとともに，後半では，演習形式を通して研究上の問題意識を深めるとともに，研究上の方法論や視点を身につける。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37020130 | 教育工学論研究 | 2 | 講義 | 教授という意図的な行為に関して，工学的にアプローチする。現状を分析して課題を発見し，目標を立て，解決策を立案・実行・評価して，漸進的に目標達成に至る方法を習得することが第一の目標である。また，複数の事例の検討を通して，教育システムを意図的にデザインする方法と留意点について習得することが第二の目標である。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 教育環境学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37020250 | 養護実践教育学論研究 | 2 | 講義 | 養護教諭の歴史や制度・養護実践・教育等からみる養護の捉え方を文献及び昨今の研究から追究する。それらをもとに、養護教育のあり方について考察し、養護学の構築に向けての理論構築を図る。<br>1. 養護教諭の実態と実践の現状について、歴史的背景や、制度、養護の概念や機能の視点について、文献及び昨今の研究から考察、分析し理論構築を図る。<br>2. 1を通じて、養護教諭教育のあり方と現職養護教諭の研修課題についてについて分析し考察する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 教育環境学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37020270 | 特別支援教育学研究 | 2 | 講義 | 特別支援教育に関わる研究方法について理解を深めるとともに、優れた先行研究などに触れることを通して、その利用方法を学ぶ。後半は、自身の研究を用いて、具体的な方法や進め方について検討を深めていく。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 教育環境学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37020290 | 情報教育学研究 | 2 | 講義 | 本授業では，ICTを活用した教育・学習について，教育工学，情報教育学の観点から検討する。授業の前半では，教授理論や学習理論，ICT活用などを具体的に学び，授業の後半では，演習形式を通して自らの博論における教育実践への応用について考える。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37030030 | 言語教育内容論研究 | 2 | 講義 | 言語政策を概観し、言語教育における様々な課題解決のため、教授法、教材等を開発し、教育現場のニーズに対応した言語教育の内容を創造し、それを実現するための言語教授法の開発を行う。ここで扱う言語教育とは、英語教育、日本語教育等の外国語教育、及び、外国籍児童生徒に対する母語保持教育、帰国児童生徒の日本語教育等の母語教育を含む広い言語教育を指す。<br>まず、現代言語教育の中で特に日本語教育に関わる日本の言語政策についての動向を概観し、それを基軸として外国籍児童生徒の日本語学習、日本適応、母語保持、受験進学等における課題や教師の役割を具体的に検討する。また、英語教育に関して、初等・中等英語科教育、及び、高等英語教育のプログラムの開発研究の基盤となる理論や実践方法を学ぶ。ただし、受講生の専門分野や博士論文のテーマに関連づけて、上記の授業内容の焦点や重点の置き方を調整する。<br>授業では、受講生が本授業から得られて知見を生かして、各自の博論の内容を精緻化、再構築する。そして、セミーⅠ、Ⅱ等での発等を射程に入れたプレゼンテーションを作成し、他の受講生と共に検討する。また、本授業では、この時期の学会、研究会等への参加・討論等のフィールドワークも含めることもある。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | | 民族学教材論研究 | 2 | 講義 | 地域社会の人々の生活の中から問題を見つけ、その人々に関わることにより資料を引き出して研究を進める民俗学の手法をとおして教材開発論を講述する。そして、社会科だけでなく、国語科、理科、美術科、音楽科などの教科にもかかわる民俗学教材から、既存の教科の枠を超えた「同時代生活誌」（現在という同時代の生活に内在する歴史や伝統を描き出すことにより地域社会の未来を構想する内容構成）という新たな領域の開発・創造の可能性を検討する。全体を通じて、受講者自らの民俗調査・研究により獲得された高度な一次資料をもとに既存の教科の枠を超えた教材を開発・創造することへの理解を深める。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37030090 | 地理学教材論研究 | 2 | 講義 | 地理学における野外調査の技法を各地理学分野の先行研究による座学と実際のフィールドでの観察などから理解することによって、①「地域」を観る目を養い、②社会科の内容である地域事象をフィールドで理解し、その仕組みを解き明かしうる能力とともに、③それらを構造的に把握して教材を開発する視点を養うことを目的とする。具体的には、教科専門としての地理学における基本的概念と地理学の基本的構造を理解し、それを社会科や防災教育における地域教材開発へと転化して授業を構成する力量との関わりから教科開発学における教科専門と教科教育について考える。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37030140 | 国語科教育教材論研究 | 2 | 講義 | 講義のテーマ： 文学教育における読書行為の研究<br>GIGAスクール構想、ICT教育といったように、学校教育ではデジタル化が推進され、児童・生徒たちもほとんどがスマートフォンを所持し、多くの時間を費やしている。一方で、児童・生徒の言語力・読解力の低下が懸念されてもいる。そのような状況をふまえて、戦後の文学教育を振り返りつつ、言語論・文学理論を参照しながら、言語力・読解力育成のための文学教材の読みについて、読書行為論の観点から考察する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37030150 | 生活科教育内容論研究 | 2 | 講義 | 学習指導要領の変遷をたどりながら、生活科創設の趣旨、生活科の目標、内容、方法、評価について検討し、親学問をもたない生活科という教科の本質と独自性についての認識を深める。さらに、生活科教育と総合的な学習の源流の一つであるデューイ実験学校のカリキュラム理論と教育実践だけでなく、アメリカにおける子供の参加理論、および、サービス・ラーニングの理論と実践ついても考察し、現在の生活科及び総合的な学習のカリキュラム及び授業実践を批判的に分析し考察する知識と能力を習得する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37030165 | 外国語教育内容論研究 | 2 | 講義 | この講義では日本の公立小学校における英語教育の在り方に関する理論的側面と実践的側面を扱う。具体的には、2020年度から導入される中学年の外国語活動と高学年の英語教育の研究について、指導者養成、指導内容、指導方法、カリキュラム、評価、中学校・高等学校へ繋がる英語教育のあり方等、様々な課題に対する研究を扱う。また、文献や授業ビデオ等や受講者の討議等を通して、小学校の小学校英語の理解を深め、実際の場で活用できることを目的とする。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37030110 | 外国語教育論研究 | 2 | 講義 | 言語習得理論を修得しつつ，教室現場ではどのように外国語が学習されて行くのかを理解する。ま<br>た，外国語教育における現代的課題への解決方法を探って行くことも大きな目的である。まず母語<br>はどのように習得されるのか理解して行きたい。次に，外国語習得（又は第二言語習得）の発達過<br>程を考察して行く。日本の外国語（英語）教育政策，特に「英語が使える日本人の育成」政策にも<br>ふれながら，外国語習得研究について，1960 年以降から縦断的に概観して行く。対照分析仮説，創<br>造的構築仮説に注目しながら，1960 年代，70 年代を振り返りたい。次に Krashen のインプット仮説<br>に焦点を当て，彼の理論の功罪について見て行く。1980 年代以降は，習得理論追求指向と実践指向<br>の 2 派に大きく分かれが，両者の考え方をおさえて行く。そして，これまでに発表されたエポック<br>的な研究論文のいくつかを輪読して行く。以上の論考を踏まえ，外国語はどのように教えていくと<br>効果的かを検討し，最終的には実際にデータ収集をして行く。<br>次に，外国語教授法研究の基礎として，言語習得の研究成果を実際の教授法や教育プログラムの<br>開発にどのように応用していったらよいかの基礎知 識を養いたい。具体的な授業計画としては，こ<br>れまでに日本の外国語教育で因習的におこなわれてきた，語彙指導，文法指導，そして4技能（聞<br>く，話す，読む，書く）の指導方法が，本当に効果的なものであるのか批判的に検討し，受講生自<br>らが実証的にデータを収集することで，より良い教授方法を開発して行く手助けをする。さらに，<br>テスト問題作成を含む評価についても触れて行きたい。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37030130 | 歴史教材論研究 | 2 | 講義 | 日本近現代史を中心に，その軸となる政治史を見据えながら，文化，マイノリティ，地域社会を視<br>野に入れ，既存の教科書の検討を踏まえ，歴史教材として何が求められているのかを考察し，自ら<br>も歴史史（資）料を読み解き，それを教材化しうる力を養う。前半は講義形式，後半は研究発表・<br>討論を通しての演習形式で行う。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 人文社会系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37030170 | 国語教育論研究 | 2 | 講義 | 国語・国語科教育論を教育課程・教育内容・教育方法の3点を中心に、その関連をどう図っていくかを軸に考察する。関連性について検証する上では、まず我が国の戦後国語教育史を視野に入れ、、その位置づけを行う。その上で現在の優れた実践例を取り上げ、先の3点の関連を視点としてその価値を考察する。以上を通して受講者個々の学習開発力の向上を目指し、最終的には自ら教育課程・教育内容・教育方法の関連が図られた教育実践をデザインしていくことを目標とする。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37040010 | 数学教材論研究 | 2 | 講義 | 数学教材の開発を、数学的探究のための汎用のツール型ソフト開発の観点から行い、特定の内容の学習のみに依存するものでなく、より広い数学的探究の世界を広げるために行っている学習環境であることを、理論的に考察しながら、数学教育に関連する代表的な学習環境について分析・検討する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37040030 | 物理教材論研究 | 2 | 講義 | 自然科学系の基礎学問として重要な物理学を基礎として、身の回りの現象や科学技術を概説しつつ、教材開発力を養い、その授業での活用法を検討する。特に、学習への動機付けや日常生活との関わりから、理科を学ぶ意義や目的、楽しさを伝える工夫として従来型の理科教材ではなく、先端科学技術を利用した種々の民生機器や玩具の動作原理の基本的な理解に加え、「日常生活」と「理科学習」をつなぐことのできる新規の物理教材開発研究を行い、その有用性について討議・検討を加える。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37040050 | 理科教育内容論研究 | 2 | 講義 | 近年の世界的な経済発展のために地球環境が悪化の一途を辿っている。学校現場では、次世代を担う人材の養成のために、このような地球環境問題への関心を喚起するとともに、問題を正確に理解し、持続可能な社会の構築のための処方箋を考える必要がある。本授業では自然界を分子や原子の観点から眺め、人類の活動と地球環境との関連、地球環境問題を理解しながら、学習のレベルに応じた教材を開発し、どのように授業に生かしていくことができるのかを検討する。環境科学（環境化学）の理解を基盤として、環境科学（環境化学）に関連したカリキュラムの 開発を行う。具体的には、二酸化炭素の化学、オゾンの化学、低炭素社会実現を目指した代替エネルギー開発などの観点から、持続可能な社会の構築のための戦略的教材化を検討する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37040060 | 数学教育内容論研究 | 2 | 講義 | 中学校及び高等学校数学に関する教材研究について学びます。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37040070 | 数学教育論研究 | 2 | 講義 | 算数・数学科の指導内容について，主に次の3 点を中心に分析・考察する。<br>(1)小・中・高の算数・数学科のカリキュラムについて，系統性を視野に入れて検討を加えた上で，特に小中，および中高の「接続」という観点から，カリキュラムについて分析する。このとき，過去の学習指導要領，過去の教科書等も調査に加えて追究する。<br>(2)数学的な思考力・表現力の本質について検討を加えた上で，それらの育成に焦点を当てた教材・指導法について，先行研究を踏まえて考察する。また，数学的な思考力・表現力の育成を目指した実践例を検討するとと もに，いくつかの授業観察を行い，授業での生徒の表れを分析する。<br>(3)数学を学ぶ意義の本質について検討を加えた上で，それを実感させる教材・指導法について，先行研究を踏まえて考察する。また，数学を学ぶ意義を実感させることを目指した実践例を検討するとともに，いくつかの授業観察を行い，授業での生徒の表れを分析する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37040090 | 生物教育内容論研究 | 2 | 講義 | 小学校～高校の理科・生物におけるフィールドワーク（野外での観察・観測）による学習では，指導計画をたてる上で学校周辺の環境の違いに適切に対応することが必要であり，フィールドワークの熟練者でなくてもそのような対応が可能となるようなマニュアルが地域毎に作成されることが望ましい。一方，近年その重要性が高まっている生態系や生物多様性に関する学習では，体験的な内容をとりいれた効果的な学習プログラムの開発が望まれる。本講義では，理科・生物におけるフィールドワーク企画・実践能力の高度化と生態系・生物多様性に関するコンテンツ開発技能の習得を目標とする。授業内容としては，小中高の理科において標準的な観察対象となる生態系において，観察内容と観察手法を実習形式で学び，それに基づいてフィールドワークの企画とマニュアル作成を行う。さらに，生態系・生物多様性に関して最新の概念に基づいたコンテンツを開発し，フィールドワークと室内での授業を効果的に組み合わせたカリキュラム案を設計する。これらによって，地域の環境に対応したフィールドワークを組み込んだ生態系・生物多様性に関する効果的な学習の企画・開発を行う能力をもった人材を育成する。 | | ◎ | |

| 大区分 | 中区分 | 小区分 | 詳細 | 必修選択 | 科目NO | 科目コード | 授業科目 | 単位 | 開講種別 | 授業目標 | DP1 | DP2 | DP3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 自然系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37040110 | 理科教育論研究 | 2 | 講義 | 本講義では，教科開発学の核心を形成する理科カリキュラム開発に関して，理科の目的論・目標論，理科の学習内容構造，子どもの自然理解の実態，理科教授論，そして科学と社会との関連を取り上げ，包括的な理解を図るとともに，理科における教科開発力の育成を目標とする。<br>具体的には，戦前の「理科」誕生以降の理科教育論の展開について，当時の西欧諸国における科学教育論と関連づけて講義を行い，理科が基礎を置く自然科学研究の本質を考究する。そして，子どもの有する科学に関する素朴概念の特徴と近年の理科教授論の動向を踏まえた上で，教科開発学の具体的手法について学ぶ。<br>さらに，21世紀の社会が直面する地球環境問題やエネルギー問題への理科の対応について論じ，これからの教科開発学の重要な視点となる持続可能な社会構築のための理科の姿を検討する。<br>一連の講義の後半では，前半で学んだ事項をベースに，カリキュラム分析や教科開発の実習を中心に実施する。現代理科カリキュラム（STSカリキュラム，コンテクストに基礎を置いた理科学習等々）の分析や開発を行うことによって，上記視点の具体的な展開を把握・実践できるようにする。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 創造系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37050030 | 保健教育内容論研究 | 2 | 講義 | 学校における保健教育は、学校保健の目的である。学校に通う児童・生徒の健康の保持増進と、児童・生徒が自ら健康の保持増進をはかることができる能力の育成という二つの側面を持っている。この授業では、実際の学校現場で、こうした活動がそれぞれの目的達成のために正しく実施されているか、あるいは、その活動の効果が正しく検証されているかを順に検証していく。そこに必要な視点は、科学的なものの見方である。<br>まず、科学的なものの見方の基本を学び、学校で行われている実際の保健指導の内容について吟味していく。次いで、学校にある各種の保健情報の収集や分析、解釈方法などを学び、さらに、保健教育（または保健指導）の効果の評価のあり方を検討する。最後に、それぞれの学校にふさわしい保健教育（または保健指導）案を作成する方法について、指導案の作成のプロセスを順に追いながら、実際に、自校の保健教育（または保健指導）案の作成までを行う。<br>受講生が現職教員や教員経験者である場合は、できるだけ各自の保健教育の経験を授業中に開示することで、他の受講生や教員と議論し、自らの活動をふり返ることができること、さらには、この授業での議論を通じて、他の教員の活動の質やその意義なども客観的に評価できる能力を身につけることを目指す。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻分野科目 | 創造系教科学分野科目 | 愛知教育大学 | 選択 | | 37050210 | 保健体育内容論研究 | 2 | 講義 | 本授業では，保健体育授業のみならず，スポーツ・健康科学領域で課題となっている事項について提起し，討議していく。特に，子どもたちの発育やその動きの現状、それを改善する策を教科開発学の観点から検証し，学習計画・指導法を開発することを目標とする。また、運動種目ついての本来の系統的学びと学校教育の現状と課題についても議論したい。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37050070 | 美術教材論研究 | 2 | 講義 | 美術・デザイン活動及びその教育について，その歴史的変遷を概観しながら，今日の問題状況や新たな展開について展望する。特に，美術・デザインのもつ特性とその教育の価値について，コミュニケーションやそのリテラシーといった情報概念を軸に考察し，それを応用した教材開発ついて探求する。<br>授業の目標は以下の 3 点を主とする。<br>(1)美術・デザインの歴史を概観し，その教育的役割について理解する。<br>(2美術・デザイン教育の歴史的変遷と今日の問題状況を理解する。<br>(3美術・デザイン教育における教材開発について演習する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 図7050090 | 体育教育論研究 | 2 | 講義 | 本体育教育論研究では，体育科における教師教育・教員養成論を巡る問題点とその解決方法について，授業研究をその中核の一つとして明らかにしていく。その基礎として，理論と実践の関係を歴史的視点および科学論的視点から検討し，理論と実践それぞれの持つ意義とその役割について理解を深める。その上で，これまでの専門家養成論に対する批判的検討とその理論の限界について理解し，実践力を高めるための授業研究の新たなあり方について，質的研究方法の一つである「アクション・リサーチ」をもとに講義を行う。これらの理解に立ち，まず体育教師が授 業実践を観察するための視点形成の方法について学習する。具体的には，ビデオ撮影された体育科の授業実践を「学習資源」として，それぞれの授業場面において「教師は，何を観察し，何を考え，どのような<br>発言（行動）を行なったのか」について討議を行う。<br>これらの講義から，体育科における授業研究の今後のあり方（その視点と方法）について理解を深めるとともに，「実践」の持つ意味と「授業実践」の構造から，体育科における新たな教師教育・教員養成のシステムについて学ぶとともに，授業者間における授業改善のための効果的な意見交換の方法と授 業者と研究者間における授業データ蓄積方法とその効果的な利活用の方法について探求できるようになることを目標とする。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37050110 | 技術教育内容論研究 | 2 | 講義 | この授業の目的は，現在，学校現場で行われている技術教育の内容を，科学技術発展の歴史に学び，その教育的効果という観点で検討し，新たな視点で技術教育教材を作り上げる能力を身につけることである。演習科目であるので，受講者が授業案を，他の受講生や教員とともに議論し，授業実践を行い，より良い実践作りへとつなげていくことを目指している。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37050170 | 体育・課外活動教材論研究 | 2 | 講義 | 講義の目的は、「スポーツ科学系の基礎的研究を保健体育、体育系課外活動の教科開発にどのように活かし研究を進めていくか」ということを探求することです。その目的のため、先行研究の理論的背景を理解し、現状を把握しながら問題点を明らかにしていきましょう。また、独創的な研究課題の設定を目指してみたいと思います。授業では個人やグループ単位でのフィールドワーク、プゼンテーションなどの機会を多く持つ予定です。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 図7050130 | 家政教育内容論研究 | 2 | 講義 | 家政教育は、人がその生涯を通して、自分らしく主体的に自立し、共生して生活するために必要な力を育てることを目的としている。家庭かは、家政教育の中でもその基礎になる部分を、小、中、高等学校の普通教育において学習者の発達段階を考慮して系統的に取り扱う教科教育であり、本授業では、家庭か教育の内容論を取り上げる。<br>家庭か教育を実践するためには、①学習者の発達段階や生活実態を踏まえて、彼らの多様な生活要求や生活課題を把握して、それらを解決するために必要な生活リテラシーを明確にすること、そして、②それらをどう整理して体系化し、家庭科の学習内容としてまとめるのかを考え、さらには、それら整理された各学習内容を③題材化し1時間の授業や必要な教材にまで具体化して実践し、その成果を評価してフィードバックし、改善していかなければならない。本授業では、主として①②について取り上げ、家庭科教育について深く考える機会とする。後半では、家庭科の中でも住生活の教科内容について具体的に考え、授業実践の展開玲や育つ能力について考察する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37050190 | 家庭科教材論研究 | 2 | 講義 | 家庭科教材論研究では、食分野を中心にしながら、家庭科の教材研究のあり方を検討する。文献調査や実習・実験を通して、教材研究力・教材開発力を育成し、家庭科の授業での活用方法やを学ぶ。また、身の回りの生活の中から、家庭科と関連の深い科学や文化に着目し、現代的課題につなげていく力を養い、家庭科を学ぶ意義や目的を伝える工夫についても検討する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻基礎科目 | 創造系教科学分野科目 | 静岡大学 | 選択 | | 37050150 | 技術教育教材論研究 | 2 | 講義 | 技術教育における教材は、学習者自らが製作（制作）するものが大半であるが、その製作の対象となる教材そのものは、教育目的を満たすために、どのように設計されるべきかを検討し、技術教育における教材設計について考察する。 | | ◎ | |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻応用科目 | | 愛知教育大学静岡大学 | 必修 | | 37110010 | 教科開発学セミナーⅠ | 2 | 演習 | 教科開発学セミナーは、大学院生が教科開発学とは何かを問いながら、それまでに研究してきた成果を、他の院生ならびに全教員の前で口頭発表する場である。他分野の教員も加わり、異なる専門性の観点から研究成果について論評する授業形態は、本専攻の特色の1つである。このセミナーでの研究発表の積み重ねが、博士論文となって実を結ぶことが期待される。さらに、教科開発学という学問領域とは何かについて、全員で議論することにより、教員と院生の共通理解を深めて行く。 | | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻応用科目 | | 愛知教育大学静岡大学 | 必修 | | 37110030 | 教科開発学セミナーⅡ | 2 | 演習 | 教科開発学セミナーⅡ は、1年次に履修し、研究発表したセミナーⅠでの内容を基礎に、それ以降の1年間の研究成果を発表する。具体的には、博士論文の目次構成と、それぞれの章立ての概要等について、他分野の教員も加わり、異なる専門性の観点から検討をおこなう。セミナーⅡは、博士論文の中間発表として位置づけられる。 | | ◎ | ◎ |
| 共同教科開発学専攻 | 専攻応用科目 | | 愛知教育大学静岡大学 | 選択 | | 37110050 | 教科開発学セミナーⅢ | 3 | 演習 | 教科開発学セミナーⅢは、セミナーⅠ・Ⅱとは異なり、原則として8月に開講される。この時期に研究成果を発表することで、自らの研究をまとめ、速やかに博士論文作成へと繋がることが期待される。具体的には、本セミナーⅢにおいては、博士論文の目次構成を確定し、博士論文の草稿を基に、その内容を発表する。 | | ◎ | ◎ |

【修正履歴】
教授会等承認日（報告日）：令和8年9月10日